

<2019 年度>

継手管理技士新規講習会
継手管理技士資格試験
開催のご案内

□新規講習会

申請期間 4月 1日(月)～ 7月 4日(木) 必着

開催日 8月 3日(土)・ 4日(日)

□資格試験

申請期間 4月 1日(月)～ 8月 8日(木) 必着

開催日

学科試験 9月 8日(日)

口述試験(学科試験合格者のみ)

10月26日(土)(圧接・溶接・機械式継手管理技士)

10月27日(日)(鉄筋継手管理技士)

公益社団法人日本鉄筋継手協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-14

安井平河町ビル 2階

TEL03-3230-0981 *音声ガイダンス「2」

URL : <http://www.tekkin-tsugite.or.jp>

◆ 継手管理技士制度の概要 ◆

1. はじめに

「継手管理技士」制度は、1992年（平成4年）にガス圧接の施工計画書の作成及び指導ができる「圧接管理技士」制度として発足しました。

一方、本協会では1999年（平成11年）に定款変更が行われ、それまでガス圧接継手のみを取り扱ってききましたが、ガス圧接継手の他に溶接継手や機械式継手を取り扱うこととしました。ガス圧接継手に限らず、溶接継手、機械式継手の品質確保と技術者の育成を目的として、従来の「圧接管理技士」制度を見直し、2008年（平成20年）に「継手管理技士」制度が発足しました。

それにより、鉄筋継手全般を包括的に管理できる「鉄筋継手管理技士」、それぞれの鉄筋継手工法に関する施工要領書・施工計画書の作成及び指導ができる「圧接継手管理技士」、「溶接継手管理技士」、「機械式継手管理技士」の4つの資格が誕生しました。

鉄筋工事におけるこれらの継手管理技士の役割は、鉄筋継手の品質を確保するための責任者として、きわめて重要であり、継手施工に携わる技術者はもとより、設計、施工（請負）、検査に携わる技術者の取得が望まれるものであり、品質管理に対する社会的要請に応えることができるものとして期待されます。

2. 継手管理技士の鉄筋継手工事標準仕様書における位置付け

鉄筋継手工法は、古くから種々の継手工法が開発されてきましたが、近年まで鉄筋継手の90%以上がガス圧接継手で推移していました。しかし、最近の数年間で溶接継手や機械式継手の施工が急増し、ガス圧接継手は70%となっています。

鉄筋継手は、継手工法によって前準備をはじめ、施工機器、管理及び検査の方法が異なります。しかし、継手としての要求性能はすべての継手工法に共通であり、工法による性能の差がありません。

本協会では、すべての鉄筋継手の品質確保を目的として、「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事・溶接継手工事・機械式継手工事）を2009年（平成21年）9月に改訂しました。

鉄筋継手工事標準仕様書では、それぞれの工法の継手工事に当たっては、施工要領書及び施工計画書を作成し、工程管理を行うことと規定しています。施工計画書の作成に当たっては、継手工法の特徴に精通した技術者が携わることが望ましく、鉄筋継手工事標準仕様書では、これらの施工計画書及び施工要領書の作成は、継手工法ごとの「継手管理技士」が行うことと規定しています。

なお、鉄筋継手工事標準仕様書は、公共建築工事標準仕様書（公共建築協会）や建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）、鉄筋定着・継手指針（土木学会）など、多くの学協会・団体の仕様書、基準に採用されています。

また、特記仕様書において「継手管理技士」が施工計画書を作成することが明記される場合が増えています。

3. 継手管理技士の役割と必要な知識

「鉄筋継手管理技士」は、すべての鉄筋継手工法に関する施工上の検討、品質管理及び検査等、継手に関して包括的な専門知識を有し指導ができる継手管理技士です。「圧接継手管理技士」、「溶接継手管理技士」及び「機械式継手管理技士」は、それぞれの継手工法に関する施工計画書及び施工要領書の作成及び指導などができます。表1にそれぞれの継手管理技士の役割と必要な知識を示しました。

4. 継手管理技士新規講習会と継手管理技士資格試験

本協会は、継手管理技士資格の取得を目指している方を対象とした「継手管理技士新規講習会」及び「継手管理技士資格試験」を開催しています。

詳細は、次頁以降をご覧ください。

5. 継手管理技士の有効期間と資格の更新について

「継手管理技士」の資格の有効期間は4年です。更新期間（有効期間満了日の2年前から有効期間満了日まで）に更新講習会を受講し、書類審査において合格することで、資格を更新することができます。

表1 継手管理技士の役割と必要な知識・能力

資格	有効期間	対象	役割（任務と責任）	必要な知識・能力
鉄筋継手管理技士	4年	設計事務所 建設会社 継手施工会社 検査会社	1)鉄筋継手に関する設計図書の確認 2)鉄筋継手全般の施工計画書の作成又は確認 3)鉄筋継手全般の施工要領書の作成又は確認 4)鉄筋継手全般の検査要領書の作成又は確認 5)鉄筋継手全般の施工及び検査の指導 6)圧接継手管理技士、溶接継手管理技士及び機械式継手管理技士の指導	1)鉄筋継手全般の包括的専門知識 2)鉄筋継手全般の施工、品質管理及び検査等に関する統括職務能力及び指導能力
圧接継手管理技士	4年	圧接施工会社 検査会社	1)ガス圧接施工計画書の作成 2)ガス圧接施工要領書の作成 3)ガス圧接施工記録の作成の指導 4)ガス圧接施工及び検査の指導	1)ガス圧接継手全般の包括的な専門知識 2)ガス圧接継手の施工、品質管理及び検査等に関する統括職務能力及び指導能力
溶接継手管理技士	4年	溶接継手施工会社 検査会社	1)溶接継手施工計画書の作成 2)溶接継手施工要領書の作成 3)溶接継手施工記録の作成の指導 4)溶接継手施工及び検査の指導	1)溶接継手全般の包括的な専門知識 2)溶接継手の施工、品質管理及び検査等に関する統括職務能力及び指導能力
機械式継手管理技士	4年	機械式継手施工会社 検査会社	1)機械式継手の施工計画書の作成 2)機械式継手の施工要領書の作成 3)機械式継手の施工記録の作成の指導 4)機械式継手の施工及び検査の指導	1)機械式継手全般の包括的専門知識 2)機械式継手の施工、品質管理及び検査に関する統括職務能力及び指導能力

◆2019 年度 継手管理技士新規講習会概要◆

1. はじめに

本協会は、継手管理技士の新たに資格取得を目指す方を対象に年に1回、「継手管理技士新規講習会」を開催しています。

本講習会は、「継手管理技士テキスト（2018年）」に基づきテキストの内容を解説し、さらに学科試験演習問題及び資格試験（学科・口述）のポイントについて講師が解説します。

2. 開催概要

- 開催日程 : 2019年8月3日（土）、8月4日（日）
- 時 間 : 表2 講習会プログラム参照
- 会 場 : 損保会館 大会議室
(東京都千代田区神田淡路町 2-9)
- 定 員 : 150名

表2 2018年度継手管理技士新規講習会プログラム

日程	時間※1	講習内容		対象資格
8月3日 (土)	9:45~12:00	共通編	序論、鉄筋、鉄筋継手の概論、品質管理、鉄筋コンクリート	鉄筋継手管理技士 圧接継手管理技士 溶接継手管理技士 機械式継手管理技士※2
	12:45~14:20	共通編	鉄筋工事の概要、安全、資格試験のポイント、学科試験演習問題	鉄筋継手管理技士 圧接継手管理技士 溶接継手管理技士 機械式継手管理技士※2
	14:25~16:35	機械式継手編	序論、種類、原理と特徴、材料、機器と施工、品質管理と検査、性能、学科試験演習問題	鉄筋継手管理技士 機械式継手管理技士※2
8月4日 (日)	9:45~11:35	ガス圧接継手編	序論、使用材料、ガス圧接装置、施工、品質管理と検査、性質、学科試験演習問題	鉄筋継手管理技士 圧接継手管理技士
	12:30~14:35	溶接継手編	序論、種類、アーク溶接の概要と鉄筋継手への適用、材料、機器と施工、品質管理と検査、性能、学科試験演習問題	鉄筋継手管理技士 溶接継手管理技士

※1 時間は若干変更になる場合があります。

※2 機械式継手管理技士は、8月3日（土）のみの受講となります。

3. 申請方法

- 申請の手順 : 受講申請書に必要事項を記入し、(公社)日本鉄筋継手協会事務局宛に郵送して下さい。また、受講料の支払方法については、次の受講料支払方法を確認して下さい。受講票は開催日の約 10 日前までにお送りします。
- 申請書送付先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-14 安井平河町ビル 2 階
(公社)日本鉄筋継手協会 宛
- 申込期間 : 2019 年 4 月 1 日 (月) ~ 2019 年 7 月 4 日 (木) (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 受講料支払方法 : 次のいずれかを選択して下さい。
 - 1) 銀行振込
申請前に、受講料の振込みをしてください。申請書に振込名義人カナ、振込日を正確に記入してください。なお、新規試験の申請をする方は、新規講習会の受講料と併せて振込みが可能です。
領収書は金融機関の振込明細書をもって代えさせていただきます。
<受講料振込先>
三菱 UFJ 銀行 市ヶ谷支店 普通 0259374 (シャ)ニホンテッキンツギテキョウカイ
 - 2) 口座引落
協会と口座引落の契約をしている団体に所属している方のみご利用になれます。
- 受講料 : 鉄筋継手管理技士 : 会員 25,700 円・一般 : 28,700 円
圧接、溶接、機械式継手管理技士 : 会員 23,600 円・一般 26,700 円

4. 配布資料と継手管理技士テキスト

- 配布資料 : 講習会当日に『講習会資料 (スライド資料・学科試験演習問題)』を配布します。
- 継手管理技士テキスト : 継手管理技士テキスト (2018 年) *継手管理技士テキスト申込書より、申込みをしてください。

◆ 2019 年度 継手管理技士資格試験概要 ◆

1. はじめに

継手管理技士資格試験は年1回の実施で、学科試験と口述試験があり、それぞれに合格することにより資格が取得できます。試験の流れについては、図1に示します。学科試験は表4のとおりで、口述試験は試験委員2名による口答試問形式によって行われます。

また、受験資格は表5のとおりで、学歴や資格、実務経験等が必要になります。

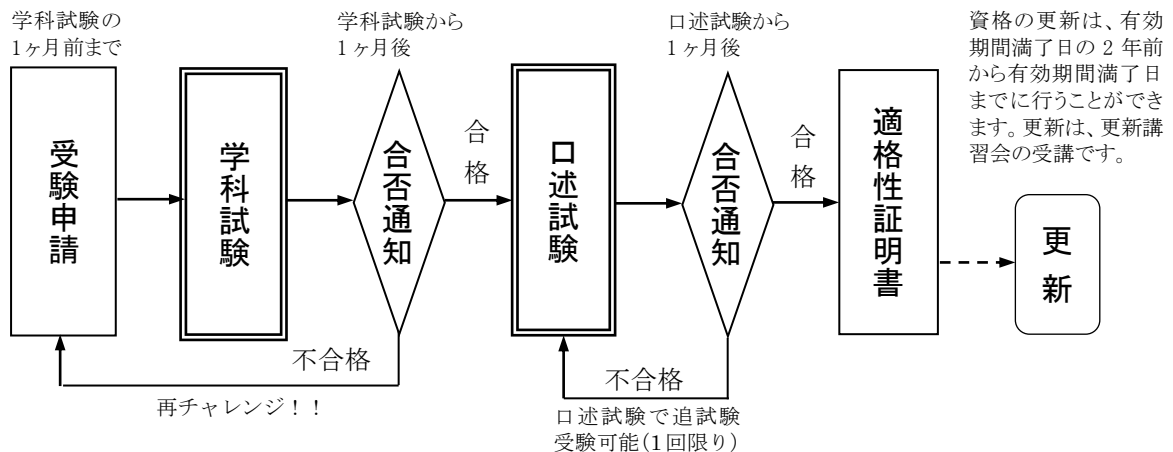


図1. 継手管理技士資格試験の流れ

表4 継手管理技士資格試験 学科試験の概要

受験種別	記述式問題の内容	択一問題の内容	試験時間	問題数	
				記述式問題	択一問題
鉄筋継手管理技士	①受験者本人の実績や体験(作文問題) ②鉄筋継手の基礎知識	①継手管理技士制度 ②鉄筋材料 ③鉄筋継手の概論 ④鉄筋継手の施工及び機器 ⑤鉄筋継手の品質管理と検査 ⑥鉄筋継手の性能 ⑦鉄筋コンクリート ⑧鉄筋工事 ⑨安全	150分	2問	30問
圧接継手管理技士	①受験者本人の実績や体験(作文問題) ②圧接継手の基礎知識	①継手管理技士制度 ②鉄筋材料 ③鉄筋継手の概論 ④ガス圧接継手の施工及び機器 ⑤ガス圧接継手の品質管理と検査 ⑥ガス圧接継手の性質 ⑦鉄筋コンクリート ⑧鉄筋工事 ⑨安全	120分	2問	20問
溶接継手管理技士	①受験者本人の実績や体験(作文問題) ②溶接継手の基礎知識	①継手管理技士制度 ②鉄筋材料 ③鉄筋継手の概論 ④溶接継手の施工及び機器 ⑤溶接継手の品質管理と検査 ⑥溶接継手の性質 ⑦鉄筋コンクリート ⑧鉄筋工事 ⑨安全		2問	20問
機械式継手管理技士	①受験者本人の実績や体験(作文問題) ②機械式継手の基礎知識	①継手管理技士制度 ②鉄筋材料 ③鉄筋継手の概論 ④機械式継手の施工及び機器 ⑤機械式継手の品質管理と検査 ⑥機械式継手の性質 ⑦鉄筋コンクリート ⑧鉄筋工事 ⑨安全		2問	20問

2. 開催概要

■ 学科試験

開催日程 : 2019年9月8日(日)

受験地^{※4} : 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

※4 学科試験受験地の申請者が10名未満の場合は、当該受験地での開催を中止することがあります。

試験時間 : 圧接、溶接、機械式継手管理技士 : 13時30分～15時30分

鉄筋継手管理技士 : 13時30分～16時00分

■ 口述試験 (学科試験合格者のみ)

開催日程 : 2019年10月26日(土) (圧接、溶接、機械式継手管理技士)

10月27日(日) (鉄筋継手管理技士)

受験地 : 東京

試験時間 : 圧接、溶接、機械式継手管理技士 : 15分程度

鉄筋継手管理技士 : 20分程度

(9時00分～16時00分の間で受験者ごとに試験時間を案内します。)

試験内容 : 受験者1名ごとに試験委員2名による口頭試問

3. 申込方法

■ 申込手順

受験申請書に必要事項を記入し、本人確認書類、実務経歴書、受験資格証明書類を日本鉄筋継手協会に郵送にて提出して下さい。受験票は試験実施日の約10日前にお送りします。なお、継手管理技士新規講習会の申込みも同時に行うことができます。また、受験料の支払方法については、次の受験料支払方法を確認して下さい。

■ 受験資格 : 次頁表5参照

(継手管理技士新規講習会の受講が無くても受験申請は可能です。)

■ 申請書送付先 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-14 安井平河町ビル2階

(公社)日本鉄筋継手協会 宛

■ 申込期間 : 2019年4月1日(月)～8月8日(木) 必着

■ 受験料支払方法 : 次のいずれかを選択して下さい。

1) 銀行振込

申請前に、受験料の振込みをしてください。申請書に振込名義人カナ、振込日を正確に記入してください。なお、新規講習の申請をする方は、新規試験の受験料と併せて振込みが可能です。領収書は金融機関の振込明細書をもって代えさせていただきます。

<受験料振込先>

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通 0259374 (シャ)ニホンテッキンツギテキョウカイ

2) 口座引落

協会と口座引落の契約をしている団体に所属している方のみご利用できます。

■ 受験料

◆ 学科試験

鉄筋継手管理技士 : 会員 12,300円・一般 14,300円

圧接、溶接、機械式継手管理技士 : 会員 9,200円・一般 11,300円

◆ 口述試験 ※学科試験合格者のみ

鉄筋継手管理技士 : 会員 13,300円・一般 15,400円

圧接、溶接、機械式継手管理技士 : 会員 11,300円・一般 12,300円

■ 登録料 ※口述試験合格者のみ、適格性証明書発行時に登録料がかかります。

各継手管理技士共通 : 会員・一般 10,200円

■ 受験申請の取消し

受験申請の取消しは開催日の14日前までとし、以降はいかなる理由があっても受験の取消しはできません。

表5 継手管理技士資格試験の受験資格一覧

<実務経歴書申請種別欄に該当する番号を1つ記入して下さい>

資格	受験資格 (いずれかの学歴、資格、実務経験が必要となる)
鉄筋継手管理技士	①4年制大学卒業後、建設関連業務経験3年以上の者 ②短大、高専卒業後、建設関連業務経験5年以上の者 ③高校卒業後、建設関連業務経験7年以上の者 ④建設関連業務経験10年以上の者 ⑤一級建築士の資格保有者 ⑥一級建築施工管理技士の資格保有者 ⑦一級土木施工管理技士の資格保有者 ⑧技術士（建設部門）の資格保有者 ⑨鉄筋継手部検査技術者技量資格3種取得後、鉄筋継手部検査関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ⑩圧接継手管理技士の資格保有者 ⑪溶接継手管理技士の資格保有者 ⑫機械式継手管理技士の資格保有者
圧接継手管理技士	①4年生大学卒業後、圧接継手関連業務経験3年以上の者 ②短大、高専卒業後、圧接継手関連業務経験5年以上の者 ③高校卒業後、圧接継手関連業務経験7年以上の者 ④圧接継手関連業務経験10年以上の者 ⑤ガス圧接技量資格4種取得後、圧接継手関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ⑥ガス圧接技量資格3種取得後、圧接継手関連業務経験4年以上の当該資格保有者 ⑦鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査技術者（A種又はS種）及びガス圧接技量資格4種取得後、圧接継手関連業務2年以上の当該資格保有者 ⑧鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査技術者（A種）取得後、鉄筋継手部検査関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ⑨鉄筋継手部検査技術者（1種、2種、3種のいずれか）及びガス圧接技量資格4種取得後、圧接継手関連業務2年以上の当該資格保有者 ⑩鉄筋継手部検査技術者（3種）取得後、鉄筋継手部検査関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ⑪溶接継手管理技士の資格保有者 ⑫機械式継手管理技士の資格保有者 ⑬圧接基幹技能者の資格保有者 ⑭鉄筋基幹技能者の資格保有者
溶接継手管理技士	①4年生大学卒業後、溶接継手関連業務経験3年以上の者 ②短大、高専卒業後、溶接継手関連業務経験5年以上の者 ③高校卒業後、溶接継手関連業務経験7年以上の者 ④溶接継手関連業務経験10年以上の者 ⑤溶接管理技術者（W E S）の資格保有者 ⑥鉄筋溶接技量資格3種（2H種）取得後、溶接継手関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ^{※5} ⑦鉄筋溶接技量資格2種（1H種）又は2F種取得後、溶接継手関連業務経験5年以上の当該資格保有者 ^{※5} ⑧鉄筋継手部検査技術者技量資格2種又は3種取得後、鉄筋継手部検査関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ⑨圧接継手管理技士の資格保有者 ⑩機械式継手管理技士の資格保有者 ⑪圧接基幹技能者の資格保有者 ⑫鉄筋基幹技能者の資格保有者
機械式継手管理技士	①4年生大学卒業後、機械式継手関連業務経験3年以上の者 ②短大、高専卒業後、機械式継手関連業務経験5年以上の者 ③高校卒業後、機械式継手関連業務経験7年以上の者 ④機械式継手関連業務経験10年以上の者 ⑤鉄筋継手部検査技術者技量資格3種取得後、鉄筋継手部検査関連業務経験3年以上の当該資格保有者 ⑥1級鉄筋施工技能士の資格保有者で、機械式継手関連業務経験1年以上の者 ⑦2級鉄筋施工技能士の資格保有者で、機械式継手関連業務経験3年以上の者 ⑧圧接継手管理技士の資格保有者 ⑨溶接継手管理技士の資格保有者 ⑩圧接基幹技能者の資格保有者 ⑪鉄筋基幹技能者の資格保有者

※5 鉄筋溶接技量資格は2016年4月より、3種は2H種、2種は1H種にそれぞれ種別が変わります。

継手管理技士新規試験申請書

【1. 基本情報】

- ①申請日： 年 月 日
- ②受験日： 2019年 9月 8日
- ③試験名称： 継手管理技士新規試験
- ④試験地区： 札幌 仙台 東京 名古屋 大阪 広島 福岡
- ⑤資格種別： 鉄筋継手管理技士 圧接継手管理技士
溶接継手管理技士 機械式継手管理技士
- ⑦受験種類： 新規
- ⑧受験内容： 学科（学科合格の場合、口述試験有）

【2. 個人情報】

- ⑨資格 No.： （日本鉄筋継手協会の資格を保有している場合）
- ⑩受験者名：
- ⑪受験者名カナ：
- ⑫生年月日： 西暦 年 月 日生 年齢 才
- ⑬現住所： -
- ⑭個人 Tel： TEL：

【3. 所属先情報】

- ⑮所属 CD.： （所属 CD がわかる方は記入）
- ⑯所属先名：
- ⑰所属カナ：
- ⑱所属住所： -
- ⑲所属先 Tel： TEL：

【4. 連絡・合否送付情報】

- 個人 所属先 *個人または所属先にチェックを入れ、Eメールアドレスまたは
FAX番号をご記入ください。

Eメール @ FAX -

【5. 支払情報】

- 口座引落
- 銀行振込（名義人） 振込日 年 月 日

【6. 添付書類】

- ・本人確認書類（住民票、運転免許証、パスポートの写しのいずれか）
- ・実務経歴書
- ・受験資格を証明する資料の写し※（卒業証書、資格証明書等）
※受験資格④「関連業務経験10年以上」の場合は不要

継手管理技士新規試験実務経歴書

申請日： 年 月 日

フリガナ 申請者氏名	
申請種別	<input type="checkbox"/> 鉄筋継手管理技士 () <input type="checkbox"/> 圧接継手管理技士 () <input type="checkbox"/> 溶接継手管理技士 () <input type="checkbox"/> 機械式継手管理技士 () <small>※受験する□をマークし、() に、受験資格一覧より、該当番号を入れてください。</small>

【実務経歴】

	期 間	実務内容
1	年 月～ 年 月	
2	年 月～ 年 月	
3	年 月～ 年 月	
4	年 月～ 年 月	
5	年 月～ 年 月	
6	年 月～ 年 月	
7	年 月～ 年 月	
8	年 月～ 年 月	
9	年 月～ 年 月	
10	年 月～ 年 月	

上記実務経歴内容に相違ないことを証明いたします。

所属勤務先名 _____

代表者名（もしくは所属部署責任者名） _____ 印

〒 ー

所属勤務先住所 _____

TEL _____ FAX _____

◆注意事項◆

1. 継手管理技士新規試験の受験申請をする場合は、必ず提出して下さい。
2. 受験資格で○年以上となっている場合は、該当する年数以上の実務経歴を記入して下さい。
3. 実務経歴の記入方法について
 - ・実務内容記入例： 例1. 2015年2月～2019年1月 ガス圧接作業
 - 例2. 2009年3月～2019年2月 建築工事現場施工管理

公益社団法人日本鉄筋継手協会

継手管理技士新規講習会申請書

【1. 基本情報】

- ①申請日：
- ②受講日：
- ③講習名称： 継手管理技士新規講習会
- ④受講地区： 東京
- ⑤資格種別： 鉄筋継手管理技士 圧接継手管理技士
溶接継手管理技士 機械式継手管理技士（8月3日のみ）
- ⑦受講種類： 新規
- ⑧受講内容： 講習会

【2. 個人情報】

- ⑨資格 No.：
- ⑩受験者名：
- ⑪氏名カナ：
- ⑫生年月日： 年齢
- ⑬現住所：
- ⑭個人 TEL：

【3. 所属先情報】

- ⑮所属 CD.： （所属 CD がわかる方は記入）
- ⑯所属先名：
- ⑰所属カナ：
- ⑱所属住所：
- ⑲所属先 TEL：

【4. 連絡・可否送付情報】

- 個人 所属先
- Eメール 又は FAX

【5. 支払情報】

- 口座引落
- 銀行振込（名義人付） 振込日：

【6. 添付書類】 なし

